

代表質問

政府主導の憲法改正を どう考えるか

民主・市民ネット 石井 満
 [答弁] 憲法には、高度の安定性が求められるが、政治・経済・社会の動きに適応する可変性も不可欠であることから改正手続きを定めつつも要件は厳格に定められているところである。

憲法の改正は、衆参各院の総議員の3分の2以上の賛成で国会が発議し、国民に提案して承認を経なければならぬことから、憲法は政府が改正するものではなく、国民が改正の是非を判断するものとして認識している。(市長)



憲法改正

合併協議会で合意された 4支所体制の堅持

新生クラブ 吉田 崇仁
 [答弁] 4支所の組織機構については、合併協議会の決定を尊重し、水産業を中心とした各地域の個性を生かした地域振興に努めていくためにも、責任ある特別職を配置し地域運営を担っていくような新たな仕組み(地区制度)が必要ではないかと考えている。

未収金が病院経営に 及ぼす影響

市民クラブ 北原 善通
 [答弁] 多額の未収金の発生は、運転資金の不足、病院職員の士気への影響など、経営上極めて好ましくないことと認識しており、病院長では本年4月より、各種未収金対策に取り組んでいる。

乳幼児医療費助成拡大の 提案が遅れた理由

公明党 瀬尾 保雄
 [答弁] 乳幼児医療費助成の拡大については、ぜひ実施したいと考えていたが、諸般の事務作業等の遅れや医療関係機関との協議にも一定の期間が必要であることから、本定例会での提案には至らなかった。現在、対象を小学校卒業まで拡大することを中心に検討しており、その場合、新たに約2億2千万円の負担増が見込まれるため、行財政改革等の推進によって財源確保に努め、新年度を目途に実施できるよう努力したい。(市長)

福祉施設建設問題の 徹底説明

日本共産党 高橋 佳大
 [答弁] この問題に関しては、私の承知する事実と福祉部から報告された記録に基づき、今年1月に経過を発表しており、これらの記録、2月定例会での議員の質問によってすべて理解できると考えており、市民の審判は下っていると受け止めている。市役所が二度とこのような事態に立ち至らないよう、私自身のあり方も含めて、職場・職員の方の改革や職員の意識づくりと防止のためのシステムづくりを全力を注ぎたい。(市長)

個人質問

昨年7月20日の市長室での 打ち合わせメモ

民主・市民ネット 福島 恭二
 [答弁] 福祉施設建設に関する打ち合わせのメモは正しいのかということだが、このメモは、当時の市長・議長の指示の内容を福祉部次長がその場で書きとめ、当日夜に整理したと聞いており、そのメモを正確な記録として残すように私が指示したものである。メモの作成について前市長に報告しなかったのは、会議に出席していた前市長は当事者として当然に内容を知っていることから、あえて報告しなかったものである。(市長)



東京事務所

臨港地区の 規制緩和

市民クラブ 能登谷 公
 [答弁] 臨港地区では、港湾活動の円滑化のために分区分け、構造物の用途規制を行っているが、今般、社会情勢や土地利用の現況・将来動向を踏まえ、許容構造物の拡大や西部地区ベイエリア周辺の分区分指解除を図ることとした見直し対象エリアについては、地区・街区など一定のまとまりを単位とすべきと考えられるが、規制緩和による都市と港湾の調和ある発展は大切であり、今後とも必要に応じて見直していきたい。(市長)

個人質問

マタニティマークの活用

公明党 小谷野 千代子
 [答弁] マタニティマークは、妊婦に対して理解ある地域や職場環境づくりを進めるため、全国統一マークとして平成18年3月に制定された。



マタニティマーク

総合療育センターと おしま地域療育センター

日本共産党 丸尾 隆子
 [答弁] 総合療育センターは、青柳・あおば・ともえの3学園を統合し、障がい児・者の福祉の推進に中核的な役割を担う施設として整備したいと考えており、おしま地域療育センターとは、相互に補充・連携する関係にある。おしま地域療育センターの存続については、現在、北海道・北斗市・七飯町と、どのような支援が可能か協議を進めており、その存続について北海道に強く働きかけ、関係自治体と協議していきたい。(市長)

市長マニフェストの 「時代の危機感」とは

民主・市民ネット 日角 邦夫
 [答弁] 平成7年以降、本市の人口は減少が続いている。合計特殊出生率は国・道を下回って低下し、出生する子どもの数が次の世代には半減しかねない。また、首都圏や中部圏に雇用を求めて転出する市民が増加し、大きな転出超過となっている。この傾向は、地域経済の停滞や所得の低下が要因と考えられ、今後さらに加速することが見込まれるため、「時代の危機感」を市民と共有し、厳しい時代を乗り越えていきたい。(市長)

北海道洞爺湖サミットでの 函館の魅力のアピール

新生クラブ 出村 勝彦
 [答弁] 北海道洞爺湖サミットについては、北海道はもとより函館にとっても、その魅力を全世界にアピールできる絶好の機会と受け止めている。そのため、開催決定の直後から、参加する各国の首脳や取材に訪れるプレス関係者を函館に誘致することの検討を進め、先般、議長とともに北海道にお願いをしてきたところであり、今後も北海道などと連携を密にしながら、その実現に向け積極的に取り組んでまいりたい。(市長)

縄文遺跡群の 世界遺産登録

公明党 松宮 健治
 [答弁] 縄文遺跡群の世界遺産登録については、北海道・東北三県で進める「北の縄文文化回廊づくり」のなかで、青森県三内丸山遺跡や当市の南茅部縄文遺跡群など、津軽海峡を挟んだ両地域の史跡の世界文化遺産の登録に向けた取り組みを推進することとしている。当面の目標は、日本の世界遺産暫定リストへの登録であり、4道県で種々の課題を検討しているが、北海道などとさらに連携・協力を図っていきたい。(教育長)

企業誘致のための 任期付き職員の採用

新生クラブ 金澤 浩幸
 [答弁] 企業誘致の推進のために東京事務所にて任期付き職員を採用することについては、近年、全国の自治体で、東京事務所にて民間出身の専門職を配置したり、誘致成功につながる情報提供に対して成功報酬を支払うなどの事例もある。企業誘致専門の任期付き職員の配置は、企業情報のいち

「ミートホープ社」製品の 学校給食での使用

日本共産党 市戸 ゆたか
 [答弁] 学校給食で「ミートホープ社」製品を使用してきた経緯だが、食材の調達は、学校給食会が規格を提示し、見本の提出を求め確認した上で、入札により業者を選定しており、同社製品も見本は規格に適合していることから、平成14年度からウインナーソーセージとベーコンを使用してきた。今後は、全ての業者に食材の使用原材料や賞味期限等のチェックを厳密に行うよう通知し、より安全な食材確保に努めたい。(教育長)

行財政対策と 市民との協働

民主・市民ネット 道畑 克雄
 [答弁] 私の3つの市役所イメージは、市民サービスの拠点、市民活動を支える事務局、地域の将来を切り開く先導的役割を果たす機関である。そのような組織には多様な人材が必要であり、幹部職員への任用も含めて、民間や様々な機関からの採用についても進めていきたい。また、若い職員を民間企業へ派遣するなど、職員が地域活動などに積極的に関わり、市民と同じ気持ちで仕事を進める組織にしていきたい。(市長)

市長選挙の際の 「悪代官」「越後屋」発言

新生クラブ 黒島 宇吉郎
 [答弁] 市長選挙の際の発言で、水戸黄門に例えた「悪代官」「越後屋」などが誰を指すのかとのことだが、「越後屋」と「やくざの親分」については、特定の誰ということではなく、地元情報紙上で職員の人物評価を行っている「経済界首脳」と「議会首脳」のことである。「悪代官」は、井上前市長のことではあるが、井上前市長が悪い人ということではなく、権力の構造を例えたものということで、お許しいただきたい。(市長)

